

ARIBから
のお知らせ

CEATEC JAPAN 2005の開催とARIB出展のお知らせ

通信・情報・映像分野の最先端技術・製品・サービスを一堂に会した、業界をあげての大規模な複合展示会「CEATEC JAPAN 2005」が、幕張メッセで開催されます。

当会は同展示会に協賛しているとともに展示を行っています。ぜひ、お立ち寄りください。

1 会期

- (1) プレミアムタイム： 10月4日(火) 10:00～12:00
- (2) 一般公開日： 10月4日(火) 12:00～17:00
 10月5日(水)～8日(土) 10:00～17:00

2 入場券の確保

インターネットで入場事前登録を9月22日(木)までに行うと入場証が郵送されます。入場料(¥1,000)が無料になるとともにスムーズに入場できます。

<http://www.ceatec.com/ja/2005/visitor/>

3 会場へのアクセス

- (1) JR京葉線： 海浜幕張駅(東京から快速で30分又は各停で40分)
 下車、徒歩7分
- (2) JR総武線： 幕張本郷駅(秋葉原から40分)
 下車、バス15分
- (3) 京成線： 幕張本郷駅(上野から45分)
 下車、バス15分

【ARIB出展の概要】

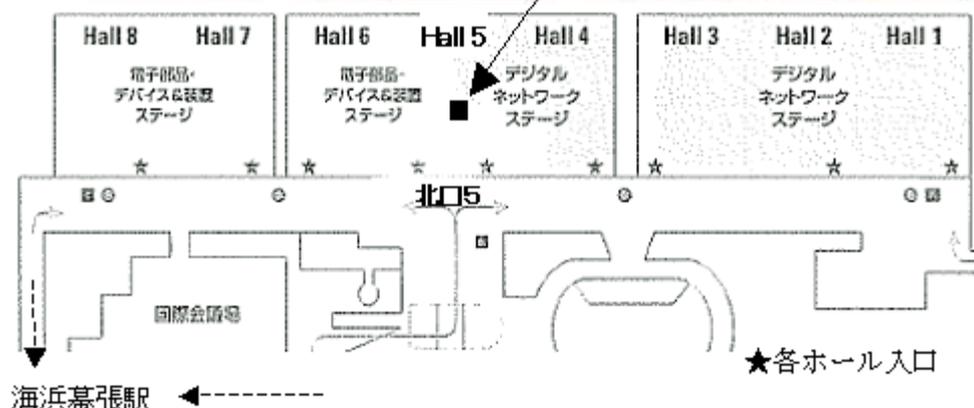
1 出展ブース

デジタルネットワークステージ 展示ホール5の小間番号5B43

2 出展内容

- (1) ARIBの活動紹介(ARIBの概要、標準規格策定業務、照会相談業務等)
- (2) 通信・放送分野における最新の研究開発状況の紹介

- (3) 特定周波数変更対策業務の紹介
- (4) 無線LANによるARIBホームページの閲覧



セミナーのお知らせ(横須賀市企業立地説明会)

- 1 日時： 平成17年10月11日(火) 14:00~16:20
- 2 場所： コンファレンススクエア Room4(丸ビル8階)
東京都千代田区丸の内2-4-1
- 3 演題・講師： 「ユビキタス・ネットワークと価値創造」
国領二郎 慶應義塾大学教授
「情報社会の進展とYRP」
大星公二 NTTドコモシニアアドバイザー 他
- 4 主催： 横須賀市、神奈川県(共催)
- 5 参加者： 100名程度
- 6 申込先： venture-r@City.yokosuka.kanagawa.jp
(企業名、お名前、所属、役職名、住所、電話番号、FAX番号
及びe-mailアドレスを10月3日(月)までに連絡)

- 7 参加費： 無料
 8 問合せ先 横須賀市情報政策課 山本
 Tel：046-822-8125
 FAX：046-822-8143

9 会場案内



アクセス：

- (1) JR東京駅丸の内南口から徒歩1分
- (2) 東京メトロ丸ノ内線から直結
- (3) 東京メトロ千代田線二重橋前駅7番出口から徒歩2分

電気通信／放送行政の動き

アナログ周波数変更対策の9月における対策開始地域 及びこれまでの進捗状況

地上デジタル放送用の周波数を確保するためのアナログ周波数変更対策(受信対策)は、平成15年2月から対策を開始していますが、本年8月までの間に442地域の対策に着手し、約327万世帯(全体の約77%)の対策を終了するなど、計画に沿って順調に進捗しているところです。

また、平成17年9月から下記のとおり受信対策を開始する予定ですので、お知らせいたします。

1 平成17年9月中に受信対策を開始する地域(12地域、約5万世帯)

北海道：1道1地域(北海道)室蘭市、登別市の各一部

東北：1県1地域(岩手県)江刺市の一部

信越：1県1地域(新潟県)柏崎市の一部

中国：3県3地域(岡山県)倉敷市、金光町の各一部

- (広島県)：大竹市の一部
(山口県)：岩国市の一部
- 四国：1県1地域 (愛媛県)東温市の一部
- 九州：3県6地域 (佐賀県)唐津市、太良町、有田町、山内町等の各一部
(長崎県)：長崎市、時津町、長与町の各一部
(鹿児島県)：日置市の一部

2 これまでの受信対策の進捗状況

- 北海道：9地域の対策に着手し、約2万6千世帯の対策を終了
- 東北：8地域の対策に着手し、約1万7千世帯の対策を終了
- 関東：76地域の対策に着手し、約150万世帯の対策を終了
- 信越：11地域の対策に着手し、約8千世帯の対策を終了
- 北陸：8地域の対策に着手し、約2万9千世帯の対策を終了
- 東海：26地域の対策に着手し、約12万1千世帯の対策を終了
- 近畿：54地域の対策に着手し、約55万9千世帯の対策を終了
- 中国：68地域の対策に着手し、約41万2千世帯の対策を終了
- 四国：49地域の対策に着手し、約15万2千世帯の対策を終了
- 九州：133地域の対策に着手し、約43万9千世帯の対策を終了

欧州電気通信/ 放送の動き

オレンジ、携帯電話向けの交通情報サービス配信を開始 【オレンジコミュニケ,2005/08/16】

仏携帯電話事業者オレンジは、8月12日、パリ及び周辺のイルド・フランス地方の交通情報並びに国内の高速道路の交通情報を提供するサービスを開始したことを発表。

このサービスの特徴は、音声認識機能により、利用者が行き先を告げるだけで必要な交通情報が提示されること。また、2分毎にデータが更新され、ほぼリアルタイムのデータが提示されることである。このサービスの利用には、通信費に加え、1分毎に34サンチーム必要とする。

なお、オレンジでは、本サービスは、車の運転中での利用ではなく、車を停止させてから利用すべきであるとしている。

地上デジタルテレビ放送の成果、これまでのところは上々 【Les Echos,2005/08/16】

広告会社MPGの調査によれば、地上デジタルテレビ放送の受信用チューナの累積販売台数は2005年6月末時点で49万台を超えた。地上デジタルのサービスエ

リアは人口の35%をカバーしているが、このエリア内での普及率で見れば5%に相当する。この普及率は9月には50%に達し、受信用チューナの累積販売台数も60万台に上る予定。また、年末時点の普及世帯数は120万世帯と予想している。

広告収入については、TMC、W9及びフランス4は3月の地上デジタル放送開始以来で広告収入が横ばいを記録。NRJ 12とNT1のみが6月に広告収入を顕著に伸ばした。NRJ 12は親会社のラジオ局、NRJの広告販売会社を通じた広告スペースの売込みが奏功し、NT1の場合はTMCとの広告のカップリング販売が決め手になったものと見られている。3月31日～6月27日の期間の各局の広告収入は合計で860万ユーロを超えたが、これには、地上デジタル以外の放送(衛星・有線)からの広告収入も含まれる。

編集後記

約1年間、人事異動のなかったARIBの企画国際部でしたが、8月15日に立花常務理事が退任され、8月31日に宗部長が退任されて、後任として重田参与と佐藤部長を迎えました。

そこで、9月9日に、OB12名及び現役9名の参加のもとに、歓送迎会が開催されました。

18:30の定刻に乾杯の音頭がとられ、食事、懇談、OB・現役の近況報告と進みました。

立花前常務理事は、現在、営業の仕事に就かれたとのことで、ますますお元気なようです。

宗前部長は、退任されて間もないので、いろいろと手続きが必要で、全然退屈している暇がないそうです。また、すでに自宅から車で4時間かかる群馬県の山中に土地を借りて、そこに山小屋を自分でつくっているとのことでした。

元理事の安永さんは、いつの間にかヤギさんのような白いあごひげをたくわえていたので驚きました。

OBのECHO氏は、相変わらず写真に撮られるのが大好きのようで、今回もデジカメの前で盛んにポーズをとります。

最近、姿を見せなかった編集子の前任のY氏、そのまた前任のK 2氏も今回は姿を見せました。Y氏は、現在、大阪に単身赴任中とのことで、1か月に1回の帰任のチャンスを生かして参加できたとのことでした。

懐かしい方々との懇談で、話は尽きませんでした。最後は三三七拍子で締めくくられ、会場の外で記念撮影をしてお開きになりました。



(編集子：PAO)

[ページの先頭に戻る ▲](#)